

徳島県介護支援専門員協会 施設委員会

令和3年度 ケアマネジャー学習会

「居宅ケアマネの視点から考える

施設・地密系サービスとのより良い連携とは」

場所：県立総合福祉センター 1F 101会議室

およびZoomによるオンライン

日時：令和4年2月19日（土）14:00～16:00

徳島県介護支援専門員協会 施設委員会では「居宅ケアマネの視点から考える施設・地密系サービスとのより良い連携とは」をテーマに荒岡 晶子 氏（合同会社はちどり）を講師に迎えてケアマネジャー学習会を催しました。折からのコロナ感染症拡大の影響から受講者は定員を割り込み、6名に留まる中zoomを活用した学習会は好評のうちに終えることができました。

講義では居宅ケアマネが行う入所支援では利用者・家族それぞれに不安があり、それをいかに汲み取れるか？そして共感し、寄り添いながらひとつひとつクリアしていくように情報収集した上で、利用者と家族にはより分かり易く伝えることが大切と言われています。

講義を終えたあと、受講者と講師、委員会メンバーを加えて情報・意見交換を行いました。それぞれに日頃の業務の中で思うこと、感じることなど忌憚のない意見が聞かれており、入所支援の際では往々にして利用者とその家族の間で意向の相違が生じているケースがあり、仲立ちや擦り合わせに難渋しているとの意見にたくさんの受講者が共感されていました。併せて専門職としてのジレンマを抱えることも入所支援の際に起こりやすいことも挙げられています。

これからも施設委員会では現場で汗を流すケアマネジャー同志がその想いを伝えて、聞くことができる機会を設けて参ります。

荒岡先生、貴重なご講演まことにありがとうございました。

施設委員会：伊庭 利光